

2016 年度 メディアプロジェクト演習 1 実施要項

1. 本演習の主旨と背景

1.1. 授業の概要と方法（シラバス）

マルチメディア時代に相応しい情報発信，高度な HTML・JavaScript を用いた Web 制作の技法を学び，実際に作品を作成する．まずは各個人で HTML・JavaScript を用いた Web ページ作りを体験し，情報発信の方法を学ぶ．次に，数名のグループに分かれ，情報技術に関するテーマについて調査を行い，そのテーマについて Web ページ作品を作成し，発表する．最後は各クラスで選ばれた優秀な作品 1 件を，4 クラス合同のチャンピオン大会で発表する．

1.2. 受講生の到達目標（シラバス）

本演習における授業目標は，次の内容を習得することである．

1. HTML を用いた Web ページの作成法
2. JavaScript を用いた Web ページの作成法
3. 情報収集および調査能力
4. 口頭でのプレゼンテーション能力

1.3. 本演習の意図

本演習は，メディア情報学科で「創成科目」と位置づけられるもので，従来の講義や実験とは異なり，受講者が自己表現能力を高め，個性豊かに創意工夫した情報発信を行うことを目的とした科目である．

20 世紀末の 10 年から 21 世紀にかけて，コンピュータや情報通信ネットワークの飛躍的な進歩により，人間の基本的なコミュニケーション手段である言語・音声・画像などを扱える情報技術もまた急速に進歩した．いわゆる「マルチメディア技術」と呼ばれる技術領域が出現し，その効果は産業社会のみならず，我々の日常生活にも影響を及ぼしている．

このマルチメディア時代の特徴は，デジタル技術によって多様な情報が獲得され，能率よく変換・伝達・蓄積・加工できるようになっただけでなく，表現力豊かでインタラクティブな情報発信が可能になったことにもある．本演習では，このマルチメディア時代に相応しい自己表現の能力を身につけることを目標としている．

本演習では，まず第 1～4 週に World Wide Web（以下 Web）を用いたインタラクティブな情報発信の方法を学ぶ．第 5 週には，数名のグループに分かれ，情報技術に関する調査

テーマを決定する。第 6～12 週に、決定した調査テーマについて各グループで情報収集および調査を行い、それを基に、そのテーマに関する Web ページ作品の作成を行う。その間の第 9 週には中間発表を行い、教員や TA・ES からのコメントを基に作品のブラッシュアップを行う。第 13～14 週に、各グループで作成した作品のプレゼンテーションを行う。最後の第 15 週では、各クラスで選ばれた優秀な作品 1 件を、4 クラス合同のチャンピオン大会で発表する。

調査活動以降は、数名のグループ毎に分かれて作業するため、グループ仲間と協力して情報収集・調査・作品作成・発表を行うことが大切である。また他グループの発表を通して、聴衆の視点からもプレゼンテーションを学び、質疑応答を行うことで、全員参加型の授業構成をとる。

2. テキスト・参考資料

- (1) 本実施要項（毎週の演習内容を確認するため持参のこと）
- (2) HTML, CSS, JavaScript 学習の教材「HTML 講座 基礎編」「HTML 講座 発展編」

※ 他に講義 Web ページを開設するので、適宜参照すること。

3. スケジュール

3.1. 各週の課題と目標

第 1 週（4/12）概要説明, HTML・JavaScript の演習(1)

まず本演習の主旨・目的を述べ、Web ページを用いた情報発信の方法・歴史と HTML の文法などを学習する。

また実際に HTML の基本課題に着手し、自分の端末から Web ページを開設することを試みる。別途配布するテキストに従って、用意されたサンプルを基に、各種要素を変更する。表の挿入や、項目の追加、名前の差し替え、色の変更など、テキストに従って進める。課題ごとに、完成した時点で挙手し、TA・ES のチェックを受ける。分からない点がある場合も、手を挙げて積極的に TA・ES に質問すること。

第 2 週（4/19）HTML・JavaScript の演習(2)

基本課題が完成したら、高度な技術を用いる発展課題に取り組む。一つ目の発展課題では、マルチメディア環境をうまく活かし、画像の貼り付け、複数ページ間のリンクを行うなど、よりよい情報発信の方法を身につける。二つ目の発展課題では、Web ページのデザインやレイアウトを定義する Cascading Style Sheets (カスケーディングスタイルシート, CSS) について学ぶ。三つ目の発展課題では、インタラクティブな Web ページの作成に用

いられるプログラミング言語 JavaScript の基礎について学ぶ。

Web ページ作成時には、技術だけでなく、ページの見やすさ・操作しやすさも考慮し、作業を進める。

第 3 週 (4/26) HTML・JavaScript の演習 (3)

前週に引き続き、発展課題に取り組む。課題ごとに、完成した時点で挙手し、TA・ES のチェックを受ける。

第 4 週 (5/7(土)) HTML・JavaScript の演習 (4)

前週に引き続き、発展課題に取り組む。課題ごとに、完成した時点で挙手し、TA・ES のチェックを受ける。一通りの発展課題を満たす Web ページを、この時間内に完成させることを目標とする。

第 5 週 (5/10) 調査テーマ決定

この週から、4~5 名程度のグループに分かれて、情報収集・調査活動を行い、その成果を Web ページ作品として作成する。

まず、この調査活動の目的・意義、調査結果のまとめ方、発表時の注意事項を説明する。続いて、どのテーマに取り組むかを、各グループの希望を聞きながら決定する。

残る時間で、これから作業に入る上でのグループ内での役割分担や、いかに作業や情報収集を行っていくかを話し合う。授業時間内だけでなく、授業時間外にもグループごとに作業することを奨励する。調査に必要と思われる資料や書籍がある場合は、各グループで用意し、次週の授業に持参すること。

第 6 週 (5/17) 調査・作品作成(前半 1)

前週に決定したテーマについて、各グループで本格的に情報の収集・調査とディスカッションを開始する。中間発表と最終発表を同一人物が行う必要性はないが、各自の個性・特技を活かし、かつ全員が本演習の意図を達成するような作業の役割分担となるよう、よく考えて計画を練ること。

第 7 週 (5/24) 調査・作品作成(前半 2)

前週に引き続き、各グループで情報の収集・調査とディスカッションを行い、Web ページ作品の作成を行う。

第 8 週 (5/31) 調査・作品作成(前半 3)

前週に引き続き、各グループで情報の収集・調査とディスカッションを行い、Web ページ作品の作成を行う。積極的に TA・ES の指導を受け、この日の最後には、担当 TA・ES

のチェックを受ける。

第 9 週 (6/7) 中間発表

前週までに作成した Web ページ作品を用いて、調査活動の中間発表(口頭発表)を行う。各グループ 5 分以内を厳守する。中間発表なので、調査内容が完結している必要はない。他のグループの発表を聞き、聴衆の立場からもプレゼンテーションを学ぶ。自グループの改善すべき点や、良い点を確認し、翌週以降の作業・発表に生かす。

第 10 週 (6/14) 調査・作品作成(後半 1)

中間発表で受けたコメントを参考にして、最終版の作品作りに取り組む。マルチメディア環境を生かした資料作りを目指す。画像や音声など、インターネットから活用できるデータを収集するのも一方法である。

第 11 週 (6/21) 調査・作品作成(後半 2)

前週に引き続き、最終版の作品作りに取り組む。

第 12 週 (6/28) 調査・作品作成(後半 3)

引き続き最終発表に向けて、資料作成を行う。次週に向けての発表練習も各グループで行うこと。またその際は、構成・時間配分をしっかりと意識する。

授業時間外にもグループで打ち合わせを行い、提出締め切りの日時までに完成度の高い発表資料を仕上げる事が期待されている。

発表は、翌週以降 2 回に分けて行うが、不公平のないよう発表資料提出の締め切りは全員同じ日時(7月4日18時)とし、それ以降の変更は認めない。

また、各自「グループ内で果たした役割・担当した作業」に関するレポートを作成する。レポートには、必ず以下の情報を記載すること。

- ・ 表紙(科目名、クラス、提出年月日、氏名、学生証番号を明記のこと)
- ・ 調査テーマの概要と、テーマを選んだ理由
- ・ グループ内でどのような役割を担当したか
- ・ 自分が担当した作業内容の詳細
- ・ 参考文献(参考にした図書・資料・Web サイトなど)

個人レポートは、期限(7月11日18時)までに、manaba+Rで提出する。

第 13 週 (7/5) 作品発表(1)

前日までに作成し終えた作品の発表を 2 週にわたり開催する。第 1 週目は、半数の作品の発表を行う。発表は、作成した Web サイトを操作しながら行うこと。

1 グループにつき、発表 10 分、質疑応答時間 5 分で、時間厳守とする。他のグループの

発表に対しても活発に質問することを推奨する。

第 14 週 (7/12) 作品発表(2)

引き続き最終発表を行う。この週は残る半数が発表を行う。発表後に、全体評価・講評を行う。最優秀作品を 1 グループ決定し、選ばれたグループは第 15 週のチャンピオン大会において発表を行う。

第 15 週 (7/19) チャンピオン大会(4 クラス合同)

4 クラスの合同で、各クラスで選ばれた最優秀作品の発表大会を開催する。選ばれたグループは、各クラスでの最終発表をもとにブラッシュアップし、10 分のプレゼンテーションを行う。質問は 5 分とする。

4 件の作品の中から、厳正な審査の上、最優秀作品 1 件、優秀作品 1 件を決定する。

3.2. 課題の提出締め切り

- ・ Web ページ作品の電子データ : 2016 年 7 月 4 日 18 時
- ・ 個人レポート : 2016 年 7 月 11 日 18 時

※ 作品の電子データ・レポートとも manaba+R での提出とする。提出方法の詳細については別途指示する。

4. 技術調査とその成果の Web ページを用いた口頭発表

4.1. グループ分け

各クラスを 1 グループ 4~5 名程度のグループに分ける。配布された座席表に従い、グループで固まって着席し、ディスカッションや情報収集、資料作成、口頭発表を分担して作業する。複数人で協調して、複数の仕事をこなし、一つの目的に向けて創造的な作業を達成することを目的としている。

4.2. 調査テーマ

調査テーマは、情報技術に関するテーマとし、グループ内で相談して決定する。ただし、グループ間でテーマが重複したり、授業の趣旨から外れたテーマになることを避けるため、希望が決まった時点で担当教員に報告し、必要に応じて調整した上で最終的に決定する。

4.3. Web ページ作成上の注意

調査テーマが決定したら、そのテーマについて、Web 上の情報や書籍・論文などを調査

し、それらを整理した上で、他人にわかりやすく紹介する Web ページを作成する。その際、単に調査結果を文章や図・写真などでまとめるだけでなく、最新の Web 技術を積極的に活用することを推奨する。

また、Web 上の情報には、不正確な情報や誤った情報が少なからず存在するので、必ず複数の情報源や元文献を調査し、裏付けを得た上で掲載すること。また、当然のことながら、適切な引用表示をせずに既存の情報をそのままコピーペーストすることは剽窃にあたるため、絶対に行わないこと。

4.4. チャンピオン大会と最優秀作品・優秀作品の決定

第 13 週と第 14 週に各クラスで各自作成した作品の最終発表を行い、最優秀作品を 1 件選出する。課題の理解度、調査結果の充実度、メディア技術の習熟度、発表資料の完成度、口頭発表の分かりやすさ等を総合評価する。

第 15 週（最終回）は 4 クラスの合同で「チャンピオン大会」を開催し、各クラス的最優秀作品（計 4 件）のプレゼンテーションを行い、その中から最優秀作品 1 件および優秀作品 1 件を決定し、表彰を行う。

5. 評価

5.1. 欠席，遅刻，早退の減点

欠席，遅刻，早退があった場合，以下の基準で減点する。

- ・欠席は 3 回を超えた場合，自動的に F となる。
- ・15 分未満の遅刻または早退は，3 分の 1 欠席とみなす。
- ・15 分を超え 45 分未満の遅刻または早退は，3 分の 2 欠席とみなす。
- ・45 分を超える遅刻または早退は，欠席とみなす。

5.2. 成績

期末試験は行わず，課題の進捗，個人レポート，グループで作成した作品，発表内容，出席状況を以下のようなパーセンテージで評価する。

- | | |
|---------|------|
| ・課題の進捗 | 20 % |
| ・個人レポート | 30 % |
| ・作品・発表 | 40 % |
| ・出席状況 | 10 % |